

1 知覚可能

1.1 代替テキスト

1.1.1 非テキストコンテンツ **A**

1.2 時間依存メディア

1.2.1 音声だけ及び映像だけ (収録済み) **A**

1.2.2 キャプション (収録済み) **A**

1.2.3 音声解説又はメディアに対する代替コンテンツ (収録済み) **A**

1.2.4 キャプション (ライブ) **AA**

1.2.5 音声解説 (収録済み) **AA**

1.3 適応可能

1.3.1 情報及び関係性 **A**

1.3.2 意味のある順序 **A**

1.3.3 感覚的な特徴 **A**

1.4 判別可能

1.4.1 色の使用 **A**

1.4.2 音声の制御 **非干渉 A**

1.4.3 コントラスト (最低限レベル) **AA**

1.4.4 テキストのサイズ変更 **AA**

1.4.5 文字画像 **AA**

2 操作可能

2.1 キーボード操作可能

2.1.1 キーボード **A**

2.1.2 キーボードトラップなし **非干渉 A**

2.2 十分な時間

2.2.1 タイミング調整可能 **A**

2.2.2 一時停止, 停止及び非表示 **非干渉 A**

2.3 発作の防止

2.3.1 3回のせん (閃) 光, 又はしきい (閾) 値以下 **非干渉 A**

2.4 ナビゲーション可能

2.4.1 ブロックスキップ **A**

2.4.2 ページタイトル **A**

2.4.3 フォーカス順序 **A**

2.4.4 リンクの目的 (コンテキスト内) **A**

2.4.5 複数の手段 **AA**

2.4.6 見出し及びラベル **AA**

2.4.7 フォーカスの可視化 **AA**

3 理解可能

3.1 読みやすさ

3.1.1 ページの言語 **A**

3.1.2 一部分の言語 **AA**

3.2 予測可能

3.2.1 フォーカス時 **A**

3.2.2 入力時 **A**

3.2.3 一貫したナビゲーション **AA**

3.2.4 一貫した識別性 **AA**

3.3 入力支援

3.3.1 エラーの特定 **A**

3.3.2 ラベル又は説明 **A**

3.3.3 エラー修正の提案 **AA**

3.3.4 エラー回避 (法的, 金融及びデータ) **AA**

4 堅ろう (牢) (Robust)

4.1 互換性

4.1.1 構文解析 **A**

4.1.2 名前 (name), 役割 (role) 及び値 (value) **A**

▼ 要注意



動画や音声を自動再生しない

動くものに注意を奪われたり、読み上げ音声聞きづらくなったりすることで、ページ全体の利用を妨げられる利用者がいます。カラーセルを含む動画や音声は自動再生を避け、停止や非表示にする機能を提供しましょう。

1.4.2 音声の制御 非干渉 A

2.2.1 タイミング調整可能 A

2.2.2 一時停止、停止及び非表示 非干渉 A

キーボードによる操作ができる

マウスなしで操作してみましょう。Tabキーでページを巡回でき、スペースキーやEnterキーでリンクやボタンを操作できるか確認しましょう。

2.1.1 キーボード A

2.1.2 キーボードトラップなし 非干渉 A

2.4.3 フォーカス順序 A

2.4.7 フォーカスの可視化 AA

閃光を避ける

閃光を放つコンテンツは光感受性でんかんを引き起こすことがあります。頻度によっては点滅も閃光と同じ作用があるので注意しましょう。

2.3.1 3回のせん閃光又はしきい閾値以下 非干渉 A

▼ 全体に関わること



サイト全体に関わること

全てのページで一貫したナビゲーションを提供しましょう。各ページのtitle要素には、ページ内容が端的に分かるページタイトルをつけましょう。

2.4.2 ページタイトル A

2.4.5 複数の手段 AA

3.2.3 一貫したナビゲーション AA

3.2.4 一貫した識別性 AA

ページ全体に関わること

ページの内容は見出しを使用して構造化しましょう。ページの主要言語や一部で使用する言語を、lang属性に正しく明示しましょう。

1.3.1 情報及び関係性	A
1.3.2 意味のある順序	A
2.4.1 ブロックスキップ	A
2.4.2 ページタイトル	A
2.4.3 フォーカス順序	A
2.4.6 見出し及びラベル	AA
2.4.7 フォーカスの可視化	AA
3.1.1 ページの言語	A
3.1.2 一部分の言語	AA
3.2.1 フォーカス時	A
4.1.1 構文解析	A

▼ 動画・音声



同等の目的を果たすテキストを提供しましょう。動画および音声の自動再生は避けましょう。また、利用者が停止できる機能を提供しましょう。

音声で情報を提供している

書き起こしテキストを提供しましょう。

1.1.1 非テキストコンテンツ A

1.2.1 音声及び映像だけ(収録済み) A

1.4.2 音声の制御 非干渉 A

2.2.1 タイミング調整可能 A

2.2.2 一時停止、停止及び非表示 非干渉 A

音声のない動画がある

書き起こしテキストあるいは代替の音声コンテンツを提供しましょう。

1.1.1 非テキストコンテンツ A

1.2.1 音声及び映像だけ(収録済み) A

2.2.1 タイミング調整可能 A

2.2.2 一時停止、停止及び非表示 非干渉 A

音声のある動画がある

書き起こしテキストまたは音声解説、およびキャプションを提供しましょう。

1.1.1 非テキストコンテンツ A

1.2.2 キャプション(収録済み) A

1.2.3 音声解説又はメディアに対する代替コンテンツ(収録済み) A

1.2.5 音声解説(収録済み) AA

1.4.2 音声の制御 非干渉 A

2.2.1 タイミング調整可能 A

2.2.2 一時停止、停止及び非表示 非干渉 A

ライブの音声を提供している

ライブの音声であることを明示し、できれば内容を文字情報としても提供しましょう。

1.1.1 非テキストコンテンツ A

1.4.2 音声の制御 非干渉 A

ライブの動画を提供している

ライブの動画であることを明示し、キャプションを提供しましょう。

1.1.1 非テキストコンテンツ A

1.2.4 キャプション(ライブ) AA

1.4.2 音声の制御 非干渉 A

▼ テキスト



リンクがある

リンク先のページの内容が理解できるリンク文字列にしましょう。文中のリンク文字は下線を付加しましょう。

1.4.1 色の使用 A

2.4.4 リンクの目的(コンテキスト内) A

2.4.7 フォーカスの可視化 AA

3.2.1 フォーカス時 A

3.2.4 一貫した識別性 AA

4.1.2 名前(name)、役割(role)及び値(value) A

文字がある

文字と背景色とのコントラストを高めて、文字の視認性を確保しましょう。ズームや文字サイズ拡大機能でも、文字が問題なく読めるか確認しましょう。

1.4.3 コントラスト(最低限レベル) AA

1.4.4 テキストのサイズ変更 AA

2.4.6 見出し及びラベル AA

▼ 制限時間



制限時間付きのコンテンツがある

理解や操作に時間のかかる利用者がいます。スクロールや画面切り替えの自動化は避けましょう。

2.2.1 タイミング調整可能 A

▼ 画像



画像がある

alt属性を使用しましょう。文字を画像にしている場合は、本当に画像にすべきか吟味しましょう。

1.1.1 非テキストコンテンツ A

1.4.3 コントラスト(最低限レベル) AA

1.4.5 文字画像 AA

▼ 感覚的な特徴



色や感覚的な特徴で情報を伝えている

色を含む、形、大きさや方向などの感覚的な特徴のみに依存した区別や説明は、判別できない利用者がいます。テキストでも情報を提供するなど、追加の手がかりを提供しましょう。

1.3.3 感覚的な特徴 A

1.4.1 色の使用 A

▼ フォーム



フォームがある

label要素を使用して入力項目に対するラベルをつけましょう。それぞれの項目には何を入力したらいいかが分かりやすい説明をつけ、エラーメッセージも理解しやすくしましょう。

1.3.1 情報及び関係性 A

2.2.1 タイミング調整可能 A

2.4.3 フォーカス順序 A

2.4.6 見出し及びラベル AA

2.4.7 フォーカスの可視化 AA

3.2.1 フォーカス時 A

3.2.2 入力時 A

3.3.1 エラーの特定 A

3.3.2 ラベル又は説明 A

3.3.3 エラー修正の提案 AA

3.3.4 エラー回避(法的、金融及びデータ) AA

4.1.2 名前(name)、役割(role)及び値(value) A

注: この早見表は、ウェブアクセシビリティ対応作業の代表的な場面を想定したもので、全ての組み合わせを網羅していません。より詳細な情報および最新の情報は、WAICが提供しているコンテンツを読みましょう。

▼ 非干渉

この達成基準を満たせないコンテンツが一部にでも存在すると、サイト内・ページ内の他の箇所にも干渉してアクセスを妨げる可能性があります。たとえコンテンツが無視して良いものや、代替版が提供されているものであっても、これらの達成基準は必ず満たす必要があります。

▼ A, AA, AAA

達成基準が必要不可欠かどうかや、ページの機能を制限するかどうかなどを考慮して定められた3段階の適合レベル。Aは適合の最低レベルであり、AA、AAAの順により高いレベルとなります。なお、AAAの達成基準のすべてを満たすことのできないコンテンツもあるため、サイト全体の一般的な方針としてAAA(本早見表では省略)での適合を要件とすることは推奨されていません。「みんなの公共サイト運用ガイドライン」(総務省、2016年)では、公的機関に求めるレベルをAAとしています。

▼ alt属性

(1) alt属性は、画像の代替テキストを提供するために使用します。画像を視覚的に理解できない利用者や、画像の読み込みができない環境で、画像と等価な内容を提供します(検索エンジンにも内容を提供できます)。

(2) 文字画像(文字を画像化したもの)のalt属性は、文字と同等の内容にします。

(3) 純粋な装飾や整形のために用いる情報のない画像は、支援技術が無視することが可能となるよう、CSSで背景画像にするか、alt属性を空(alt="")にします。

▼ HTML以外のコンテンツ

PDF、Word、ExcelといったHTMLではないコンテンツについてもアクセシビリティ対応が必要です。それぞれのコンテンツに関するガイドラインやベストプラクティスなども参考に、文字情報を取得できるようにするなどの対応を進めてください。

▼ アクセシビリティ サポート

ある技術が、ユーザーエージェントや支援技術によって実際に利用できるようになっていることを指し、どの技術で実装すると良いのかの判断に用います。WAICのサイトで一例を確認できます。